

航路標識の歴史とアスパム灯台60年の歩み

江戸

1610



【コルドアン灯台 (フランス)】
写真の出展：『世界山灯台』
発行者：株式会社山堂書店

一六二二年
フランス西海岸に、現在でも最も美しい灯台の1つに数えられるコルドアン灯台が建設される。

1820



【第1号灯器】
写真の出展：『世界山灯台』
発行者：株式会社山堂書店

一八三三年
フレネルレンズが考案される。

1860

一八五三年
ペリー提督率いる米国軍艦4隻が浦賀に入港。

一八五八年
アメリカ、オランダ、ロシア、イギリス、フランスと修好通商条約を締結。神奈川、長崎、函館、兵庫、新潟の5港を開港。

明治

1870



【(初代) 観音埼灯台 (神奈川県横須賀市)】

一八六六年
アメリカ、イギリス、フランス、オランダと江戸条約締結。江戸幕府は、この条約で外航船の安全の確保のため、灯台の設置を約束。

1880



【フランソワ・レオン・ヴェルニー】

一八六八年 (明治元年)
ヴェルニーを技師長とするフランス人技術者集団により観音埼に我が国初の洋式灯台の建設が始まる。

1890



【神子元島灯台 (静岡県下田市)】
プラントンが最初に建設し、現存する我が国最古の灯台。

一八七〇 (明治三) 年
イギリスの技術者プラントンにより、30基の灯台が建設され、我が国の灯台創世記の基礎を作る。

明治10

明治20

明治30

一八八四年 (明治一七年)
初の日本人技術者による灯台が鞍埼に建設される。

大正

1900

1910

1920

大正10

一九〇四年 (明治三七年)
日露戦争勃発。

一九一四年 (大正三年)
第一次世界大戦勃発。

【灯台守の生活】
灯台のあるところには、職員とその家族の生活があり、人里離れた僻地や孤島に建てられた場所で灯台を守った人々の苦労は並大抵のものではありませんでした。昭和10年代当時の職員の回想録には『自給自足でなければ生きることができない。「家庭の医学書」を頼りに病を治す。水は雨水。石油ランプの明かりが唯一の照明であり、薄暗いランプの下では、本を読むことすらできないため、貞明皇太后陛下より御下賜 (ごかし) されたラジオが貴重な娯楽であるが、これもわずか10分足らずの定時放のみであった。』と当時の厳しい生活の一端が記されています。



【ラジオでくつろぐ職員と家族 (昭和12年)】

昭和

1930

1940

昭和10

昭和20

1950

昭和30

一九三九年 (昭和十四年)
第二次世界大戦勃発。

【カムフラージュした室戸岬灯台 (高知県高知市)】



【戦中の灯台と空襲による殉職】
1944年 (昭和19年) 3月に足摺岬灯台 (高知県土佐清水市) が空襲を受けてから、全国各地の灯台が攻撃を受けるようになりました。灯台は海軍省と逓信省との協定により防空監視網に編入され、敵機、敵艦船の監視といった戦争のための施設と化し、灯台職員は空襲の際にも監視と状況報告が任務であったため、直ちに避難することができず、尻屋埼灯台 (青森県東通村) や金華山、塩屋埼、犬吠埼などの全国の灯台で殉職者が相次ぎました。

一九四五年 (昭和二十年)
第二次世界大戦終戦。

一九四八年 (昭和二十三年)
海上保安庁発足。

【大久保初代長官による庁旗掲揚】



一九五六年 (昭和三十一年)
日本初の無人灯台 (伊島灯台) 完成。

平成

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

昭和40

昭和50

昭和60

平成10

平成20

平成30

一九六八年 (昭和四三年)
青森港北防波堤西灯台 (後の通称「アスパム灯台」) 初点灯。



【(初代) 青森港北防波堤西灯台】

一九八九年 (平成元年)
灯台にLED灯器を使用。



白熱電球を使用していた光源にLED光源を採用。光源の省エネ化により電源の太陽電池化が促進。

二〇〇四年 (平成一六年)
港や防波堤の景観にマッチする現在の青森港北防波堤西灯台 (通称「アスパム灯台」) に建て替え。



【アスパム灯台 (青森県青森港)】

アスパム灯台にLED灯器を使用。

二〇〇六年 (平成一八年)
大型太陽電池設置により全国の灯台における滞在勤務が全て解消。

二〇一八年 (平成三〇年)
灯台一五〇周年。

二〇二二年 (令和三年)
アスパム灯台点灯六〇周年「還暦」。「あおもりアスパム灯台ポスト」完成。



【ペイントされたアスパム灯台(R3.7.22)】